



片づけを考える

○定位置と戻す習慣を

日、一日と春の訪れを感じる毎日です。冬の間に、春になったら始めてみようかな、と思っていた事がありますか。

新しい事を始めるのには、ちょっとしたエネルギーがいりますけど、最初だけ少し頑張ってみるとその生活に慣れてきて上手く力加減ができ長続きします。習慣にするという事です。

習慣にすると言う事は、いつもそうする事を自分の決まりにする事です。

例えば、整理収納に関していえば、「一日一箇所片づける」とか、モノを買う時には、「本当に要るモノかな、といつも考える」などを習慣づける事もいいですね。

ですが、整理収納に於いて、一番身につけたい習慣は、使ったら「戻す」習慣です。

一般的には、整理収納は、①「モノを減らす」→②「収納場所を決める」→③「状態を維持する」の順序で整理収納を進めていきますが、日頃の暮らしの中で、①、言い換えると「モノの要・不要を判断して処分する」から始めるのは、少々面倒に感じます。

むしろ、よく使うモノを無意識に出しっぱなしにしない「③状態を維持する」から考えると実行しやすいです。

「よく使う」という事は、必要なモノです。必要なモノには、「②収納場所を決める」のです。ひとつひとつに住所を与えます。

使用頻度が高いのですから、出し易くしまし易い場所が定位置になるように考えます。

ところが、その場所にモノを入れる余裕のスペースがない場合がほとんどです。そこで初めて、そこに、出し易くしまし易いという貴重な場所に相応しくないモノの存在が浮き上がります。

これを移動や処分の対象にしていけば「①モノを減らす」事ができます。晴れて、よく使う大切なモノのベストな定位置が決まるのです。

そして、この定位置に戻す習慣ができると、モノが出しっぱなしの家とは格段の違いが出ます。

新しいモノが入る時にも常に定位置を決めなければなりません。

決める手間をかけてまでも必要なモノなのかをも考えるきっかけになり、むやみにモノが増えるのを防げます。

この状態までくると「使ったら必ず戻す」こともあまり難しいことではなくなります。よい状態が維持できます。

時間のない場合も、せめて一日の終わりには、きちんと戻す事です。使ったら「戻す」、春から始める事のひとつに加え、習慣にしてみたいかがですか。

モノを大切に捉える意識の始まりになります。



出張セミナーのご案内

- 一般向け 「ポイントを知って始める基本の整理収納」
「シニア世代の家の片づけ方」
「捨てられない人の整理術」
- PTA 研修 「片づけ上手な子にする為に母さんが知る整理収納」
- 企業研修 「5Sから考える職場の整理収納」他

整理収納全般のテーマでお受けします。
内容、ご予算等お気軽にご相談ください。

○資格取得講座＜整理収納アドバイザー2級認定講座＞
ご希望日をお知らせください



朱夏らいつ

森 由香 (もり ゆか)

- 整理収納コンサルタント
- 整理収納アドバイザー認定講座講師
- 企業内整理収納マネージャー
- 整理収納教育士
- ファイリングデザイナー(1級)
- 整理収納アドバイザー
- ルームスタイリスト(1級)

〈朱夏らいつ〉

中国の五行説では、青い春(青春)の次に来る季節は朱い夏(朱夏)です [朱夏らいつ] のネーミングには、人生の朱い夏を頑張る皆さんと暮らし、そして、自分を応援する意味が込められています



朱夏らいつ便り (5)

発行日：2015年4月1日(水) No.5

編集&発行：朱夏らいつ 森 由香

HP : <https://shuka-life.com>

E-mail : info@shuka-life.com



トピックス



～けむりに託すモノ～

桜の花は嫌いです。見ると悲しくなります。

それは、桜の花をこよなく愛していた父が、ある年の早春、桜の開花を待たずに逝ってしまったからです。

愛した家族と全てのモノを置いて突然、逝ってしまったのです。

実は、大方の家で、持ち主を失ったモノ達は、家族の希望で以前と同じ様に決まった場所に置かれ、来る事のない出番を待っています。

先日も、亡くなったご主人のモノを捨てなくては...と、お話していた方がいましたが、まだまだ悲しみの中に居るのもよくわかります。

このような場合、今は、モノを処分する事で無理に思いを断ち切らなくてもいいのでは、とお話する事もありますが、その状態が永遠に続くと、心も前を向けませんし、いずれは他の家族に迷惑がかかります。

モノは、持ち主がいなくなった時点で、そこでの役目が終わったのかなと思います。

でも、故人が愛用していたモノは、簡単に処分出来ません。

そこで、少しずつ、「けむり」に帰して故人の元へ送ってあげればいいのか、と思う様になりました。あちらの世でも愛用できるように。

この春、父の愛用していた帽子をひとつ、「けむり」に託そうと思っています。

あちらの世で好きな花見に行く時に必要でしょうか。

目の前の帽子を手放しても、桜を眺めれば父を思えます。

多分、色々な事が吹っ切れて、私もまた、桜の花が好きになるでしょう。



整理収納用語の解説

～使用頻度別収納～

使用頻度を考えて収納場所を決める事を言います。

毎日使うモノから、一年に一回程度使用するモノまでを5段階に分けてみます。(特例として、消火器は毎日使うモノ)

使用頻度の高いモノは使い易い場所へ収納するようにします。使い易いとは、そのモノを使う時に取り出し易い状態にあることです。

モノは取り出し易ければ元に戻し易く、家が散らかりません。



インテリアのワンポイント⑤

今回も好きなインテリアスタイルを知る為に「形」からも『好き』を探してみましょう。

「形」とは、家具、照明の外形や装飾を構成してフォームやラインのことです。例えば、家具の形ひとつでも、シャープな直線や、人工的な曲線のもの、または優美で繊細な曲線やゆったりとした曲線のものそれぞれに好みがありますね。

こうして、形も自分の好みを知り、その上でそれを単独ではなく素材や質感などの好みと組み合わせていく事でお気に入りのインテリアテイストが決まってきます。



講座のご案内

- 4/10 インテリアも学べる整理収納術 (コープカルチャー富士見)
- 4/11 紙の電子化講座 (南桜井パソコン教室)
- 4/16 必ずできる家の片づけ (コープカルチャー春日部)
- 4/22 親の家を片づける (コープカルチャー富士見)
- 4/25 片づけのやり方 (タカラスタンドードショールーム)

※最新情報は HP をご覧ください

お知らせ



講習会から ～ご受講ありがとうございました～



○ 蓮田市社会教育「学びま専科」
定員 30 名のところ、72 名の応募があり、皆さんの意識の高さがよくわかりました



○ シフォンママ工房様
ケーキ教室で、片づけ講座を開催しました

○ iPad講習会
クラウド化について学んでいます



モノ/語り

◆あげる喜び



元々、不器用で手芸系の習い事はしていないので、完成作品の行き先を心配した事もなかった。

ところが、義理で出席したアクリルたわし作りの講習会で、思わず大ヒットの出来上がり。

わざわざ毛糸を買って、いくつもたわしを作っている。結構かわいい。

こうなるとどなたかに差し上げたくなる…。

しかし、立場上、要るかわからないモノを渡したらマズい。

でも、取りあえず「要らなければ捨てて」と禁句を言って渡すか、と悩みつつ、また、せっせと編んでいる。



収納グッズ

～ミニまな板&クリップ～



使いかけの乾物の袋の上の部分折り、クリップで100均のミニサイズのまな板に挟んでおきます。



残量がよくわかり、まな板を立てれば収まりも良く、重宝しています。

本の紹介

暮らし上手の整理学 三笠書房



著者は、1911年生まれの生活評論家であり、木元敦子さんの母親でもあります。暮らしの基本「町田式整理術」は、時代を超えて今もなお健在です。

著者：町田貞子 定価：617円(税込)

ブログでも本の紹介をしています
朱夏と LIFE のお片づけ日記
→ <https://ameblo.jp/shukalife>

～整理収納相談 Q&A～

- Q 部活のユニフォームを本人が「処分して」と言います。私は残しておきたいのですが、親の勝手ですか？
- A ご本人は、モノよりももっと大切なモノを手に入れているのでモノ自体に未練はないのでしょうか。ですが、お母さんも精一杯サポートしてきたから思い入れもありますよね。それなら、とっておけばいいと思います。ただし、それは、もうお子さんの大切なモノではありません。お母さんの大切なモノとしてお母さんのスペースで保管する様にしてくださいね。